

特定非営利活動法人 ぐるっと緑道 設立趣旨書

2012年3月

私たちは、2001年、横浜市都筑区北西部の緑道・遊歩道の安全性、利便性及び魅力の向上を研究し、もって地域住民の福祉の発展に寄与することを目的として、「ぐるっと緑道・遊歩道研究会」を立ち上げました。特に、横浜市営地下鉄中川駅周辺において、遊歩道が途切れ、歩行者等が安全に通行できない場所について、2003年には、都筑区生涯学級で連続講座を開催し、2005年には、ヨコハマ市民まち普請事業コンテストに「中川駅北西部の途切れている歩道をつなぐ」という提案で応募しました。その後、2006年には、横浜市地域まちづくり推進条例の適用を受け、「地域まちづくりグループ」に認定されました。このような活動とともに、地域の皆様に私たちの活動を認知していただくために、シンポジウムなどを催しました。その結果、2010年3月に、横浜市都筑土木事務所の協力の下、途切れていた歩道の改善が行われました。

私たちは、今後とも継続して、歩行者、車いす・ベビーカー利用者等が安全で安心して通行ができるよう、緑道・遊歩道の安全対策に取り組みます。

また、2009年より中川駅前商業地域の活性化と地域コミュニティの形成を目指して、コミュニティカフェの研究を行い、その成果をもとに、2011年10月1日、フィットネスハウス「パレット中川」内にコミュニティカフェ「ほっとカフェ中川」をオープンしました。

さらに、2010年10月から、地域活性化を目的とした地域住民が参加するイベント「ふれあいフェスタ中川」を開催し、2011年にも1月と6月にその企画及び運営を行いました。

このように、「ぐるっと緑道・遊歩道研究会」の活動は、まちづくりに関する幅広い領域に拡大し、特にコミュニティカフェの運営については、事業として結実してきていることから、当該研究会を法人化し、多くの方の賛同を得て、社会に責任ある組織とすべきであるとの結論に達しました。

以上のことから、特定非営利活動法人「ぐるっと緑道」を設立いたします。

特定非営利活動法人「ぐるっと緑道」は、市民・商店会・事業所・行政の協働を促す場として、その橋渡しの役割を担うとともに、次世代に贈るに相応しい魅力あるまちづくりの推進を目指して、下記の活動を実践して参ります。

1. コミュニティカフェの運営

コミュニティカフェ「ほっとカフェ中川」が、集いの場づくり、手作りイベント、近隣情報の発信の場、棚ショップ、ミニギャラリーなどを通じて地域コミュニティの核となるよう、地域住民等のボランティアによって運営して参ります。

2. 地域の活性化プランづくりと実施

地域の方々ともまちづくりを考え、地域活性化策を検討するとともに、活動実績のある「中川ふれあいフェスタ」をより充実させ、市民参加型のイベント等の開催に結び付けて参ります。

3. 安全で魅力的な歩道・遊歩道づくり

都筑区には、地域住民にとって憩いの場となる、快適な緑道が多数存在します。しかし、一方では、歩道・遊歩道に関しては、他の地域と比較し安全ではあるものの、段差の存在など問題点も抱えています。今後も、このような地域の課題解決に向けて、既存の制度や枠組みにとられない先進的なまちづくり手法を研究することで、安全で魅力的な歩道や遊歩道づくりに

向けて、市民、企業、行政などの各方面に対して働きかけて参ります。

4. まちづくりネットワークの構築

横浜市都筑区北西部のまちづくりに資するため、当該地域のグループ、全国各地のまちづくりNPO法人や大学及び研究機関との交流・連携を深めることで、まちづくりのネットワークを構築して参ります。

5. 情報発信

「ぐるっと緑道」が主体となってフェスタやシンポジウム及びセミナーなどを開催するとともに、当該活動内容をホームページ等で全国に発信して参ります。

特定非営利活動法人「ぐるっと緑道」は、上記諸活動により、次世代に誇れる「安全、安心で絆のあるまちづくり」を推進して参ります。

以 上

平成24年3月1日

特定非営利活動法人 ぐるっと緑道
設立代表者 塩入 廣中